

6名へのデッチ上げ不当弾圧を策す 県警に怒りの抗議デモ叩きつける

4/22



「権力一本統率一体系のフレームアップ弾圧を許すな！」6名の仲間を先頭に、県警抗議のデモに出発。(4月22日、市内目黒き通りにて)

判闘争にひき続いて、4時より千葉市・教育会館6F大会議室において「6名へのデッチ上げ弾圧、組織破壊攻撃粉碎、千葉県警抗議総決起集会」が開始された。

緊急動員にもかかわらず全支部から20名の仲間がかつつけた。昌頭、若々たる決意をもってありさつに立った奥川委員長は、「ヤニの『6』は『デッチ上げ攻撃』としてかけられた、権力と動労本部『革マル反動分子』一体となった今回の攻撃は、三里塚を叩き、国鉄35万人体制粉碎を叩く勢力への破壊攻撃である。しかも、ごくありふれた日常的組合活動である『獲得オルグ』という事をとらえて、これを『監禁強要』として刑事事件にデッチあげるといふ事は、労組組合が労組組合としての日常活動をするをも禁圧しようとするものであり、絶対に許してはならないものだ。従ってこの叩きは、われわれの未来はもろろんのこと、全国の至ゆる職場を叩いている労働者と労働運動を防犯するものとして徹底的に叩くなくてはならない。決して屈するわけにはいかない。われわれは、一三〇〇名の総決起を軸に、全国の支援団体の仲間、更には県労連傘下の各労組の仲間へもはたらきかけ、組織の総力をもちて

白帝支配階級は、マスコミを反動的にかりたてて「ヤミ・カラ・悪價行」「国鉄労働者「国賊」なる反動的キャンペーンで土壌づくりをした上で、いよいよその真の目的たる国家権力を総動員して、わが動労千葉に対する未曾有の組織破壊・大弾圧にうつてきてきた。今回のデッチ上げ性・違法性・不法性を見れば、フレームアップ型攻撃として、今日最も戦闘的・原則的労働運動「労働者らしい叩きを堅持し叩きぬいて、わが動労千葉に対する狙いうち攻撃である事は明らかである。だからこそ、今こそわれわれは満腔の怒りをもち、この攻撃を、その緒戦において木端微塵に粉碎するために総決起するものである。

4月22日、われわれは怒りにもえた県警抗議・包圍デモに総決起した。

緊急抗議に210名決起

『日刊』の二九号で既報のよう、4月22日「6」は公

南あう。なによりも出頭命令拒否で叩く6名の仲間と家族を全員で支えきり勝利しよう。闘争委員会先頭に立つこと鮮明な決意を明らかにした。

反対同盟、本山から、激励と女陣の決意表明

続いて、また、南争支援女陣会議世話人、三里塚反対同盟北原事務局長が「敵は、反対同盟にかけられたのと同様の攻撃を、今、動労千葉にかけた。労働戦線の希望の星としてある動労千葉への攻撃を共に叩き砕く」と決意を表明した。

6名の仲間、鮮明な決意表明

吉岡組私部長より、この叩きへむけた方針を受け、全体の総決起を圧倒的に確認したのち、不当な出頭命令攻撃と叩きつる6名の仲間が前に並び、会場は熱気に包まれ、激励の拍手とかけ声となりやまない。この熱気を更に上まわす6名の一人一人の断固たる決意が表明されていった。成田支部、川島君、錦織君、大塚君、佐倉支部、宮内君、勝浦支部、吉野君、葛野支部、滝口君の、この決意(次号で紹介)に、これ、全体の総決起を誓い、全員直ちに、怒りの県警を叩き、抗議デモに出発した。県警、われわれの怒りを見たら、徹底的に叩くぞ、全組合員は総決起しよう、

日刊 動労千葉
82.4.27
No. 1030
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)四三三二・七二〇七